

2008年01月発行

編集・発行

君津中央病院

☎ 0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

1. 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
2. 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
3. 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
4. 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
5. 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
6. 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

《今号の表紙》

【玉龍雪山(5,596m)】

雲南省・麗江の北にあり、納西(なし)族の神様が住む聖なる山です。納西族は、独特の象形文字である東巴(とんぱ)文字や、北斗七星が飾られている紺色や黒を基調にした民族衣装で有名です。世界遺産・麗江古城の丘の上に建つ、万古楼から撮影したのですが、山腹に一筋の雲が漂い、龍神が休息しているように見えました。

循環器科部長 山本 雅史



認定第JC295号
(一般病院)
2004.08.23 -
2009.0.822

J C Q H Cとは、市民が
適切で質の高い医療を安
心して享受できるよう、
医療機関の機能を学術的
観点から評価する第三者

診療科紹介

君津中央病院耳鼻咽喉科

君津中央病院耳鼻咽喉科

私たち耳鼻咽喉科は、みみ、はな、のど(咽喉頭)、頸部の疾患を対象として偏りなく診断・治療を行っています。また、赤ちゃんからお年寄りまで、これらの器管の病気に対し、内科的治療から外科的治療まで行う診療科です。

一般に、耳鼻咽喉科の扱う範囲は、みみ・はな・のどと考えられがちですが、首より上で脳より下(眼以外)の領域を扱っております。この領域には5感のうち、聴覚(きこえ)、平衡覚(バランス)、嗅覚(におい)、味覚(あじ)をつかさどる耳、鼻、舌という重要な感覚器が含まれます。さらに、食べ物をかむ、のみこむ、声を出すという機能を有した口腔、咽頭、喉頭という運動器官が含まれます。また甲状腺(ホルモンを分泌する器官)や耳下腺、顎下腺(つばを分泌する器管)も守備範囲に含まれます。これらは、人間が人間らしく生活していく上で、大切な感覚器官・運動器官です。

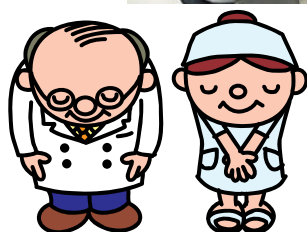
われわれは、日常診療では額帯鏡や内視鏡、顕微鏡を用いて視診を行い、さらに触診や様々な生理学的検査(聴覚検査、平衡機能検査、嗅覚検査など)、画像検査の情報も活用し総合的に診断を行っています。

外来診療

外来は、常勤医3人および非常勤医で月曜、火曜、木曜に行っております。水曜と金曜は手術日となるため、原則として、新患の患者さまに限った診療日となっております。



耳鼻科診療室



耳鼻咽喉科病棟

耳鼻咽喉科は、8階東病棟が主な入院病棟となっています。約20~25人の患者さまが、その疾患に応じ、手術、点滴治療、放射線治療、嚥下訓練などさまざまな治療を受けています。

頭頸部癌では、それぞれの病期に応じて、初期の方にはQOL(生活の質)を重視した治療を行っております。進行癌の方には放射線・化学療法・手術を組み合わせた集学的治療を行っており、また新しい治療法として臓器温存を重視した超選択的動脈注射による化学療法も行っております。

なお、こどもで入院治療が必要となる場合には、10階西病棟(小児科病棟)に入院となります。



耳鼻科スタッフ

耳鼻咽喉科手術

主に行われている手術は、

- ・耳(鼓室形成術、鼓膜形成術など)
- ・鼻、副鼻腔(内視鏡下副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、アレルギーレーザー治療など)
- ・喉頭(喉頭微細手術など)
- ・頭頸部腫瘍、頭頸部癌(腫瘍摘出術、再建術など)
- ・その他、炎症性疾患の切開、排膿術など

他部門との連携

私たちは、嚥下障害(食べ物がうまく飲み込めない)の方に対し、リハビリテーション部門の言語聴覚士と協力し、診察、嚥下訓練を行っています。

また、耳鼻咽喉科は、取り扱う疾患によって放射線科、脳神経外科、神経内科、眼科、口腔外科、形成外科、呼吸器科、消化器科および小児科などと深い関わりをもっています。医療は各診療科の個性を活かした専門能力を結集してこそ、成り立つものと考えられます。そのため、必要な際には、他科の先生方やスタッフと連携しつつ、診療を行っています。

診療科紹介

君津中央病院眼科

君津中央病院眼科

眼球は直径約25mmの小さな器官ですが、我々の日常生活は80%以上が視覚情報に依存しているといわれ、視覚の障害・喪失は生活に重大な影響を与えます。現在の高齢化社会において、視機能を保ち続けることは、生活の質の向上という面からみても非常に重要なことです。眼科では、視機能を改善、維持する目的で、診療を行っております。白内障・緑内障や、糖尿病網膜症・網膜剥離などの網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性黄斑前膜・黄斑円孔・黄斑前膜などの黄斑疾患、斜視・弱視などの小児眼科疾患、全身疾患と関連のある眼疾患、その他、眼科全般に関する診療を行っております。当院は日本眼科学会専門医制度研修施設の認定を受けています。

外来診療

平成19年8月現在、常勤医4名（日本眼科学会認定眼科専門医4名）、非常勤医3名で診療に当たっております。新患の患者さまは水曜日を除く平日の午前、予約患者さまは平日の午前に診療を行っております。

午前は、一般的な眼科検査（視力検査、眼圧検査、細隙灯検査、眼底検査など）・診療を、午後は、蛍光眼底造影検査、斜視弱視検査、未熟児網膜症検査、網膜光凝固術など、特殊検査・治療を予約で行っております。緑内障などの診断・治療に必要な視野検査や、近年急増している加齢黄斑変性などの黄斑疾患の診断に非常に有用な光干渉断層計（OCT）の検査も随時行っております。眼科外来の患者数の増大に伴い、現在、外来診療の新患に関しては、緊急、もしくは紹介状をお持ちの患者さまに限らせていただいております。病状が安定している患者さまは、地域の医院への通院をお願いしております。患者さまにはご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

眼科診療

当院眼科では年間約700件の手術を行っております。最も多い白内障手術は1泊もしくは2泊の入院で行っております。その他、網膜剥離、糖尿病網膜症、黄斑部疾患などに対する網膜硝子体手術や、緊急の眼外傷に対する手術、緑内障手術、斜視手術、ものもらい（麦粒腫・霰粒腫）・眼瞼下垂・翼状片など外眼部・眼表面疾患の手術も行っております。

他科との連携

糖尿病・高血圧・高脂血症などに関連のある網膜症や網膜血管閉塞は、初期には自覚症状がない場合も多く、内科的な治療と同時に眼科の定期的な診療が大切です。現在、他科より紹介の患者さまは予約診療をしております。また、視力低下・視野異常・複視・眼瞼下垂など眼の異常から全身の疾患が発見される場合もあり、必要に応じて検査・他科紹介を行っております。



視能訓練士による

眼のマメ知識 ～目薬の点眼ポイント～

目薬をうまくさせますか？なかなかうまく入らない方、溢れるほど点眼される方、意外に多いようです。そこで目薬の点眼方法をまとめてみました。

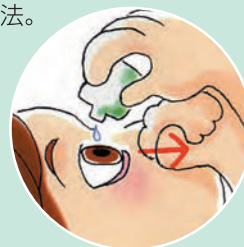
1.あっかんべー法

目薬を持っていない手の指で下まぶたを引っ張り、天上を見て目薬を持った手を頬に固定し、点眼する方法。



2.げんこつ法

目薬を持っていない手でげんこつを作り、点眼する眼の方の頬に置き、その上に目薬を持った手を置いて点眼する方法。



※注意点：目薬の容器の先端はまぶたやまつげに触らないように！もちろんティッシュペーパーで先端を拭いてもいけませんよ！

看護局だより

7階東病棟紹介

当病棟では、整形外科・内分泌代謝科を始め、H18年4月より神経内科・H19年2月より皮膚科が加わり4科を中心に入院される患者さまに医療サービスを提供させていただいています。

特に亜急性期病床が27床設置されているのが、大きな特徴であります。亜急性期病床とは、急性期治療が終了された後に、直ちに自宅や療養施設への移行に際し不安のある患者さまに対して退院支援を目的とした病床です。

私達は「残存機能を活かした、その人らしい生活」が送れるように、医療スタッフによるカンファレンスを、毎週開催することで医療サービスが、患者さまへ適切に提供できるように心がけています。リハビリ科や栄養科とも協同し、各個人に適した看護ケアを実践しています。また、ソーシャルワーカーとも協力し患者さま・ご家族のご要望をできる限り反映させ、退院支援を行っています。そして、糖尿病教室の運営にも参加しています。

明るく・やさしいスタッフが患者さまに快適な入院生活を送れるように日々取り組んでいます。

看護師長 白石 真由美



感染管理認定看護師紹介

感染管理認定看護師の鶴岡里枝子と申します。

平成19年7月に日本看護協会より認定を受けました。「感染管理」という言葉は聞きなれない方も多いと思います。感染管理とは院内感染に関するデータを収集・分析することで患者さまとご家族、ご面会の方、医療従業者、委託業者、実習生など病院に係わる全ての人々を感染から守るための活動です。

感染管理認定看護師は、医療従業者が実践したケアと感染の関連を評価する役割がありますが、感染管理は医師、看護師、臨床検査技士、薬剤師などの職種が専門的知識を持ち寄ることで、問題解決の充実を図ることが可能となります。今後は、多職種で構成される専門チーム（インフェクションコントロールチーム：ICT）のメンバーとして、また看護師の視点を生かしながら感染管理活動を行ってまいります。よろしくお願いします。

感染管理認定看護師 鶴岡 里枝子



～助産師・看護師・准看護師募集～

君津中央病院では、正規職員または臨時職員の助産師・看護師・准看護師を随時募集しています。短期間の勤務や夜勤ができない方へのご相談にも応じますので、気軽にお問い合わせください。臨床現場を離れていて「不安」という方のために、『看護師再スタート講習会』を毎月1回開催しています。

身 分	地方公務員
募集人員	20名程度
応募資格	有資格者。二交替勤務、三交替勤務または日勤勤務のできる方
応募方法	電話連絡の上、次の書類を郵送してください。 □履歴書（市販の様式） □免許証の写し（原寸大）
試 験	書類選考の上、面接。 面接日時は、追って期日をご連絡いたします。
勤務条件	二交替勤務、三交替勤務または日勤勤務（臨時・パート）
給 与	当院規定による（経験年数加算あり）
採用時期	随 時
そ の 他	遠方からの当院に就職される方には、赴任旅費支給制度があります。 平成19年6月に院内保育所を開設しました。

<問い合わせ>

〒292-8535
千葉県木更津市桜井1010番地
君津中央病院
TEL.0438-36-1071(代表)
看護局長 長谷川 和子

臨床栄養科の紹介

入院患者さまの栄養状態を一人ひとり把握し効率的な治療が達成できるよう、医師、看護師、医療技術スタッフと連携しながら、適切な食事を提供しています。調理は病態調理師が中心となり、衛生的で安全な食事を安心して召し上がって頂けるよう、また季節感と手づくり感を大切に、おいしい病院食を提供するよう努力しています。

冷凍エリア
衛生・清潔をモットーに低温保存で調理し冷凍庫に保管します。



トレーラインで早く正確にお食事のセットをしています。



A食・B食どちらのメニューがお好みですか？
栄養士がお伺いします。



お食事にメッセージカードを添えて季節感をお届けします。



温菜エリア
最新鋭のスチームコンベクションオーブン！
色々な料理を（焼く、煮る、蒸す、茹でる）
能率的にこなしてくれる優れものです。



栄養指導の前にカルテや看護記録より、患者さまの情報を確認します。



毎月2回のイベント食行事食とお楽しみ献立です。



患者さまのお食事は、栄養管理室のコンピュータでトータル管理しています。

食事、栄養に関するご相談を行っています。
お気軽にスタッフにお尋ね下さい。栄養士が病棟までお伺いいたします。

君津中央病院を受診される患者さまへ

君津中央病院は、地域の急性期病院として「地域医療連携」を推進しています。

「地域医療連携」とは

厚生労働省は地域の医療機関の機能分担を進め、より質の高い医療を効率的に提供するために「地域医療連携」を進めています。

地域には、入院施設のない診療所やクリニック、先進高度医療を行う急性期病院、また、慢性期の入院医療を行う療養型病院、各種介護保険施設など、いろいろな役割と機能を持った医療施設があります。

「地域医療連携」とはそれぞれの医療施設がお互いに得意なところを機能分担し、協力、連携して患者さまの症状に応じた医療を提供することを地域全体で行うことを言います。

具体的には初期診療や慢性の継続診療などは診療所（かかりつけ医）で診療し、重症診療や専門的な検査、治療は病院で診療して診療機能を合理的に活用することです。



君津中央病院の「地域医療連携」体制は

君津中央病院では、急性期・高度医療という当院本来の機能を適切に果たし、また、外来待ち時間、入院待ち期間を短縮するために「地域医療連携」を奨励しています。

「初診時特定療養費」とは

平成8年4月の健康保険法の改正により「地域の医院・診療所」と「200床以上の病院」の機能分担を推進するため、「初期の診療は医院・診療所で高度・専門医療は病院で行う」ことを目的とした特定療養費制度が制定されました。

これにより、当院では他の医療機関などからの紹介（紹介状）なしに直接来院された患者さまにつきましては、初診料とは別に「初診時特定療養費」として2100円（税込）をご負担いただいております。

上手な医療の受け方は

お近くの診療所でご自分にあった「かかりつけ医」を持ちましょう。

かかりつけ医で日頃の健康管理、病気の初期治療を受け、必要に応じて君津中央病院へ紹介してもらい、専門的な検査や入院の必要な治療を受ける。

病状が安定すれば、かかりつけ医で治療を続けることをお勧めします。

診療所（かかりつけ医）

君津中央病院

診療所（かかりつけ医）



紹介状



紹介状



日頃の健康管理は診療所へ

専門的な検査や入院治療は君津中央病院へ

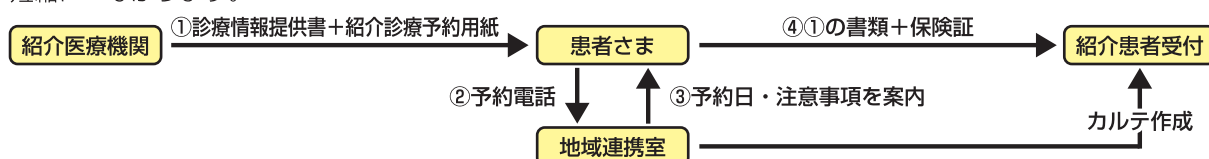
病状が安定したら再び診療所へ

地域連携室は紹介状をお持ちの患者さま専用窓口です

紹介状をお持ちの患者さまは外来診療の電話予約ができます。

- ① 外来診療をご希望される方は、かかりつけ医からの紹介状を頂いた後に、下記へご連絡ください。その場で日時をご案内します。（これで予約は完了です）
- ② 受診当日、15分ぐらい前に来院してください。「紹介患者受付」でご案内いたします。

予約をして頂いた患者さまは、申込書の記入や再来受付機での手続きなどは不要です。直接来院すると、受付手続きから診察時間までの待ち時間がかかりますが、予約が入っているので待ち時間の短縮につながります。



※検査予約（胃内視鏡、腹部超音波、心電図、筋電図、CT MRI）については、患者さまからの直接予約は受け付けておりませんので、ご希望の方はかかりつけ医にご相談ください。

予約や問合せは…地域連携室へ

0438-36-1071（代表）内線2812
0438-36-1069（地域連携室直通）

君津中央病院附属看護学校載帽式

長い歴史の中で看護師のキャップは看護師の象徴として付けられてきました。君津中央病院附属看護学校では、学生が入学して約半年経った11月2日、看護師の象徴のナースキャップを1人1人につける載帽式というセレモニーがありました。

載帽式を迎え学生達は満面の笑みで「キャップを戴けてうれしい」「新鮮な気持ちになった」「頑張らなきゃ」など喜びいっぱいの顔をしていました。



看護師等養成奨学金制度

対象となる条件

- 1 奨学金 ①助産師・看護師の養成施設（専門・短大・大学等）に在学中であること。
②養成施設卒業後ただちに当院に就職する意思のあること。
- 2 入学準備金 養成施設への入学が決定している者で上記の奨学金の貸与も申請する者であること。
（入学準備金のための貸与はありません。）

貸与の期間

奨学金については、養成施設入学後から卒業までの正規の修業期間内です。

奨学資金の額

- 1 奨学金 月額 5万円
- 2 入学準備金 一時金 30万円

当院では、助産師又は看護師を養成する学校に在学する方で、将来当院に勤務いただける方を対象にした奨学資金貸与制度（月額奨学金・入学準備金）を設けています。

返還の免除

- 1 奨学金 免許取得後当院に就職し、奨学金の貸与を受けた期間と同じ期間勤務した場合は、返還免除となります。
- 2 入学準備金 免除制度はありません。当院就職後、所定の期間内に一括又は分割の方法により返還していただきます。

申請書類

申請には、2人の保証人が必要となる申請書などの書類が必要です。詳しくは下記担当までお問い合わせください。



《担当》
国保直営総合病院君津中央病院
事務局総務課人事給与班
TEL.0438-36-1071

E-mail:soumu@hospital.kisarazu.chiba.jp

院内コンサートのお知らせ

昨年、12月22日（土）に、君津中央病院 1階中央待合ホールにおいて「君津ラテンジャズ同好会」によるクリスマスコンサートが開催されました。

視聴者の皆さまが手拍子を打ちながら、演奏を楽しんでいました。

次回の院内コンサートを3月22日（土）に予定しておりますのでどなたさまもお気軽にご参加ください。



大佐和分院よりお知らせ

ドック受付中
0439-65-1251

今回はスタッフ紹介の最終回です

看護係



朝のミーティング

勤務室



村田師長



訪問介護室

在宅介護の不安を少しでも取り除けるようにお手伝いさせていただきます。



内科外来



外科外来

機械室係

院内のトラブルは何でもお任せ、新井本さん



有馬医師よりお知らせ



大佐和分院では保健活動として患者さまやご家族を対象に院内で健康教室を実施しております。今年度のテーマは糖尿病、高血圧症、高脂血症で、2～3回の講義を通じ、病気の基礎知識に加え、ご家庭で出来る食事・運動療法についても具体的にお教えしました。来年度も予定しておりますので、積極的なご参加をお待ちしております。

又、小児科医療については市の健診の他、今年度の新たな取り組みとして富津市内の各保育所にて保護者向けの「子育て教室」を実施しております。子供によく見られる急病「発熱・腹痛・下痢・嘔吐など」に対して、まずご家庭でしていただくこと・どんな時すぐに病院へ連れて行かなければならないかなどをお教えすると同時に、普段はなかなか医師に聞くことが出来ないちょっとした疑問もお受けしております。さらにこの南総地区の小児科医療の現状についてもお話し、皆様のご理解・ご協力を呼び掛けております。来年度は富津市に加えて君津市の保育所でも行う予定です。

私たち看護師は村田師長の暖かく厳しい指導の下、患者さまの必要とされる看護を行える様日々自己研鑽しております。

これからも宜しく願いいたします。

分院広報担当 須藤

編集後記

新しい年が始まり、まだ寒い日が続きますね。みなさん、健康には十分注意して下さい。

Cloverも多くの方に愛されるよう頑張っていきます。みなさんにとって、幸せな年でありますように……。

(R・T)

